

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587018101	科目番号 / Course code	05870181
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12921_005		
授業科目名 / Course title	a16環境と社会運動COC / Environment and Social Movements		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	保坂 稔 / Hosaka Minoru, 関 陽子 / Seki Yoko, 友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	保坂 稔 / Hosaka Minoru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	保坂 稔 / Hosaka Minoru, 友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosaka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	保坂教員室: 環427 友澤教員室: 環439		
担当教員TEL/Tel	保坂: 095-819-2728 友澤: 095-819-2784		
担当教員オフィスアワー/Office hours	保坂: 木曜16時00分 ~ 17時00分 友澤: 月曜16時00分 ~ 17時00分		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。政府、企業、専門家との対立や協力の相互作用のなかでの市民運動の役割について、様々な視点から議論できる知識と素養を養う。長崎県と関係のある環境問題についても触れる。		
授業到達目標/Course goals	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる(11)。企業、行政、専門家、市民の役割や対立点を説明できるようになることも目指す(3)。長崎県内の環境問題を整理して問題点と解決策を発表できる(7)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 80% + レポート 20% = 100%のうち、60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	ニュースや新聞を読むときに、授業で学んだ用語を想起して社会分析をしてみる。 <予習> 環境問題を取りあげるニュースや新聞記事などに目を通しておくこと(2h) <復習> 講義内容および講義資料をもとに復習すること(2h)		
キーワード/Keywords	新しい社会運動、エコファシズム、公共圏、リスク社会、水俣病、カネミ油症、原発事故、長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書は適宜紹介する。プリント配布、映像の視聴を行う。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	授業内容で得た知識を利用し、報道される環境問題を掘り下げて考える習慣をつけてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	環境運動分析：環境社会学への誘い（保坂）
2	社会運動論 緑の党（保坂）
3	エコファシズム（保坂）
4	公共圏（保坂）
5	コミュニケーション的合理性と住民参加（保坂）
6	環境運動と地域（保坂）
7	日本の環境運動序論（友澤）
8	1960?70年代の市民・住民運動（友澤）
9	「開発反対運動」の含意とは（友澤）
10	「公共性」をめぐる市民・住民の模索（友澤）
11	「公害」を問う（友澤）
12	「救済」をめぐる当事者・行政・企業・市民社会の模索（友澤）
13	「持続可能な環境」像を考える（友澤）
14	「快適な社会」をめぐるわたしたちの模索（友澤）
15	総括講義（保坂）
16	試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587018501	科目番号 / Course code	05870185
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12931_005		
授業科目名 / Course title	a16環境問題の歴史から学ぶ / The History of Environmental Problems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 五島 聖子 / Goto Seiko, 関 陽子 / Seki Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 五島 聖子 / Goto Seiko, 関 陽子 / Seki Yoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	seijishirakawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部3F 環321 白川教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現在存在する環境問題の解決策を考える上で、過去の環境問題とその解決法や取り組みについて知ることは重要である。本講義では、様々な視点で過去および現在の環境問題について知ること、環境問題について深く考える。また、講義で得た新たな知識を参考に、自分自身の環境問題に対する姿勢を深く考えていく。		
授業到達目標/Course goals	日本や海外の環境問題のいくつかの事例に歴史について説明できる。環境問題に対する自身の姿勢および意見を他者に述べることができる。他者の環境問題に対する姿勢および意見に対する議論を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各講義ごとのレポートによる評価(50%)、授業への貢献度(50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	復習：講義内容の復習 (1コマ毎 4 h)		
キーワード/Keywords	環境問題、公害、社会システム		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	環境問題に関心を持っている。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	環境問題について再度じっくり学び、考え直すことで、今後の環境問題に対する意識を高めて欲しい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 : 6/5,3限	白川担当 講義の概要
第2回 : 6/5,4限	白川担当 公害問題 1
第3回 : 6/12,3限	白川担当 公害問題 2
第4回 : 6/12,4限	白川担当 公害と化学
第5回 : 6/19,3限	白川担当 公害問題について考える
第6回 : 6/19, 4限	五島担当 都市緑地について
第7回 : 6/26,3限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (イギリス)
第8回 : 6/26, 4限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (フランス)
第9回 : 7/3, 3限	五島担当 日本の自然観について
第10回 : 7/3,4限	五島担当 明治以降の日本の都市緑地について
第11回 : 7/10,3限	関担当 環境思想史 (人間中心主義はどこからきたか)
第12回 : 7/10,4限	関担当 環境思想史 (自然中心主義)
第13回 : 7/17,3限	関担当 環境思想史 (環境倫理と環境運動)
第14回 : 7/17,4限	関担当 動物倫理から考える
第15回 : 7/31,3限	関担当 価値の対立について

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587043701	科目番号 / Course code	05870437
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12911_005		
授業科目名 / Course title	a16生態系と社会C0C / Ecosystem and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山本 裕基 / Yamamoto Yuki, 関 陽子 / Seki Yoko, 服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山本 裕基 / Yamamoto Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山本 裕基 / Yamamoto Yuki, 服部 充 / Hattori Mitsuru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	山本: y-yamamoto nagasaki-u.ac.jp, 服部: mhattori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	山本: 環451 服部: 環432		
担当教員TEL/Tel	山本: 095-819-2724 服部: 095-819-2759		
担当教員オフィスアワー/Office hours	山本: 適宜対応します。 服部: 水曜日9時00分-10時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生態系、生態系機能、生態系サービスについて一般論として説明した後、生態系サービスについて 事例を交えつつ説明をおこなう。社会の方へ力点を置き、持続的な社会を維持するための経済的な 仕組み、法や制度、地域の取り組みなどについて紹介し、環境問題に関連する対策について説明す る。 プレゼンテーション・レポートなどを通じて理解度の確認をおこなう。		
授業到達目標/Course goals	生態系、生態系機能、生態系サービス、社会的な取り組みなどについて、一般論や典型的な事例な どを提示しつつ、基礎的なことを学び、生態系が人間社会にとって欠かせない、環境の重要な要素 となっていることが説明できる。また、生態系と社会の関係が現代あるいは長崎県の環境問題とど のように深く関わっているか、基礎的なことが説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各教員による。 主に小テスト、プレゼンテーション、レポートなどで評価をおこなう。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業時間外学習に充てる時間が3時間ある		
キーワード/Keywords	生態系サービス、環境問題、経済政策		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて指示をおこなう		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	なし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	とくになし
学生へのメッセージ/Message for students	地球規模の気候変動、生物多様性の急激な低下、様々な災害から生活環境の快適性に至るまで、生態系は我々の生活に大きく関わっています。ここで学ぶことは初歩的なことですが、大事な知識の1頁に加えましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション、環境問題とは何か (服部)
2	生態系を形作る生物の役割 (1) 生物間相互作用
3	生態系を形作る生物の役割 (2) 生物多様性の創出メカニズム
4	生態系を形作る生物の役割 (3) 生物間相互作用が生態系をつなぐ
5	生態系サービス: 人間社会での生物利用
6	生物が引き起こす環境問題: 外来種問題、獣害問題
7	生物多様性保全
8	イントロダクション (山本)
9	経済学の基本の考え方 (1)
10	経済学の基本の考え方 (2)
11	経済政策の基本 (1) 市場の役割と失敗
12	経済政策の基本 (2) 環境税・補助金
13	経済政策の応用 (1) 生態系保全と経済政策
14	経済政策の応用 (2) 生態系サービスの価値推定
15	環境保全政策のまとめ